（別紙4（2））

事業所名　元気ホーム北松戸

作成日：平成 31年 4月 30日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
	11	往診が行える医師と連携して入居者の健康管理を行っているが、施設との契約関係ではなく利用者個別の契約であるため集団感染の際などは一つの問題に対し多方面と連絡を取り合わねばならない。また新規の契約を結ぶ際には都度受けてもらえる医師を既存の方の中か、新規かで探す必要がある。	各医療機関とも往診希望の受け入れには限界があるとのことで専属的な関係を結ぶことは困難ながら、研修医の受け入れや意欲的な取り組みを行う医療機関もあり、その様な医院に積極的に協力していくことで関係を深めていくことは可能と思われます。	医院が独自に取り組む評価シートの記入などによる協力。医療に関する定例会議への参加などで関係を深め、よりスムーズな緊急対応や新規受け入れにつなげます。	12ヶ　月
	15	食事について、選択・準備・片付けに入居者が関わって頂くための体系化された具体案がなく、できそうな方のみ個別に参加して頂いている。またミキサー食の方へ本来の食事内容を話すなどで食事の楽しみを支援することが十分に行えていなかった。食事の価値や楽しみを高めるための支援について改善の余地がある。	施設の理念4項のとおり、生きがいをもち安心した生活を支えることのひとつとして食事の面からQOLの向上を試みる。そのため、衛生管理や個人情報保護、接遇の質の確保と同様に食の質や価値の確保についても情報収集を行いマニュアル作成や研修を実施していく。	食を通した生活の質や活動、認知症ケアなどについてサービス提供方針やマニュアルを作成し周知していく。	12ヶ　月
					月
					月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。